

## 2-1 京都府の森林

### 京都府の現況

京都府は日本列島のほぼ中央にあり、北端は京丹後市丹後町、南端は木津町で近畿でも真ん中に位置します。府の面積は平成14年10月現在**4,613km<sup>2</sup>**で国土の1.2%を占め、47都道府県中31番目の広さです。北部は日本海に面し、中部は山地地帯で、南部は盆地になっています。

大阪湾に注ぐ淀川水系と日本海に注ぐ由良川水系の分水嶺に沿って南部と北部に分かれており、南部は瀬戸内海気候、北部は日本海気候の特性を示します。年平均気温は京都気象台平年値では気温15.6℃、年間降水量1,545mm、舞鶴気象台平年値は気温14.3℃、年間降水量1,786mmになっています。



### 京都府の森林

#### 京都府の森林資源

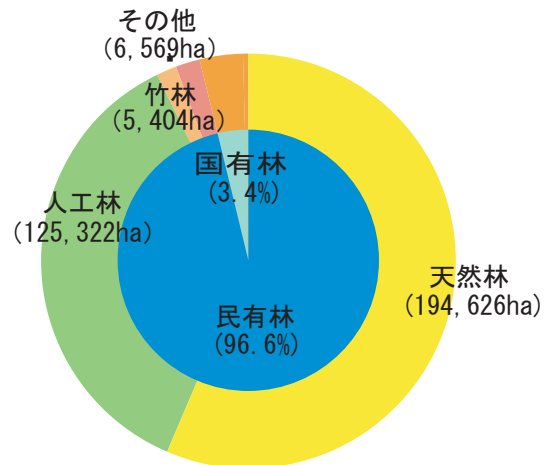
京都府の森林面積は、総土地面積**461,297ha**の**74.5%**に当たる**343,526ha**で、その内訳は331,921haが民有林で、11,605haが国有林であります。民有林では人工林125,322ha、天然林194,626haで、人工林率37.9%（地域森林計画区域民有林の人工林面積/民有林面積）

民有林のうち人工林の樹種別面積では、スギ61,902ha、ヒノキ54,737ha、マツ8,448ha、その他144haになっています。

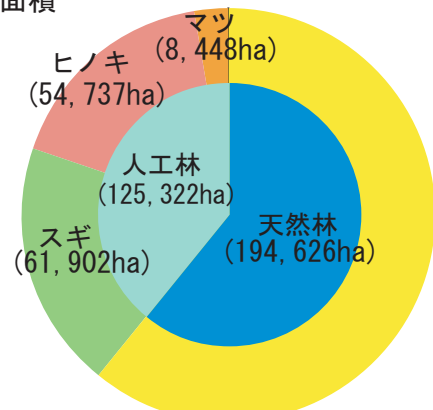
また蓄積量は、森林全体で66,062千m<sup>3</sup>で毎年約1,000千m<sup>3</sup>ずつ蓄積量が増加しています。人工林のうちスギ20,421千m<sup>3</sup>、ヒノキ9,289千m<sup>3</sup>、マツ1,563千m<sup>3</sup>、その他20,160千m<sup>3</sup>で計31,293千m<sup>3</sup>で、天然林は32,958千m<sup>3</sup>となっています。

次に齢級別の森林面積の構成では、人工林針葉樹では9齢級（齢級とは5年を単位とするしているため41～45年生）が面積20,680ha、蓄積6,331千m<sup>3</sup>でピークとなっており、9齢級以下の森林が人工林の約7割を占めています。戦後に植林されたスギ・ヒノキの割合が高いとともに伐採時期に入りつつあることがわかります。

所有別・樹種別森林面積



民有林樹種別面積



「京都府林業統計」より